



銀山荘（銀山温泉）

- 本社所在地：山形県尾花沢市
- 事業概要：宿泊（旅館3棟）を核に飲食・食品製造・農業体験・バス交通・旅行業を展開する多業態複合型地域事業者。昭和40年創業。
- 常時使用する従業員：96名  
（2025年5月時点）
- 現在の売上高：15億円  
（2025年5月期）
- 法人番号：9390001009200
- Web：https://www.ginzanso.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
小関 健太郎

### 地域の可能性を事業に変え、日本の温泉地・観光地を豊かにする。

銀山温泉で学んだことは、地域の不満や課題を一つずつ事業に変えることで、温泉街全体が豊かになるという事実。私が関わり始めた頃と比べ、温泉街全体の売上は長年の取組の積み重ねで大きく成長した。この経験を、変わる意志を持つ地域と共に全国へ展開する。地域に寄り添い、ともに育む。それが銀山温泉モデルであり、100億円に向けた私たちの原則。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2040年に売上高100億円を達成する。銀山温泉での16年にわたる多業態展開の実証をもとに、2031年までに銀山温泉モデルを完成させ、地域再生の意志を持つ温泉地・観光地・農村・漁村へ順次展開。銀山荘本体約20億円と横展開地域の合算で100億円を目指す。

### 課題

- ①横展開を担う経営人材の確保・育成 多業態運営ノウハウを各地で再現できる現地責任者の輩出が鍵。
- ②初期投資資金の確保 フェーズ1で約9.5億円、フェーズ2で各地1～3億円の継続投資が必要。
- ③地域連携の合意形成 行政・地元事業者・住民との共創関係の構築に時間を要する。

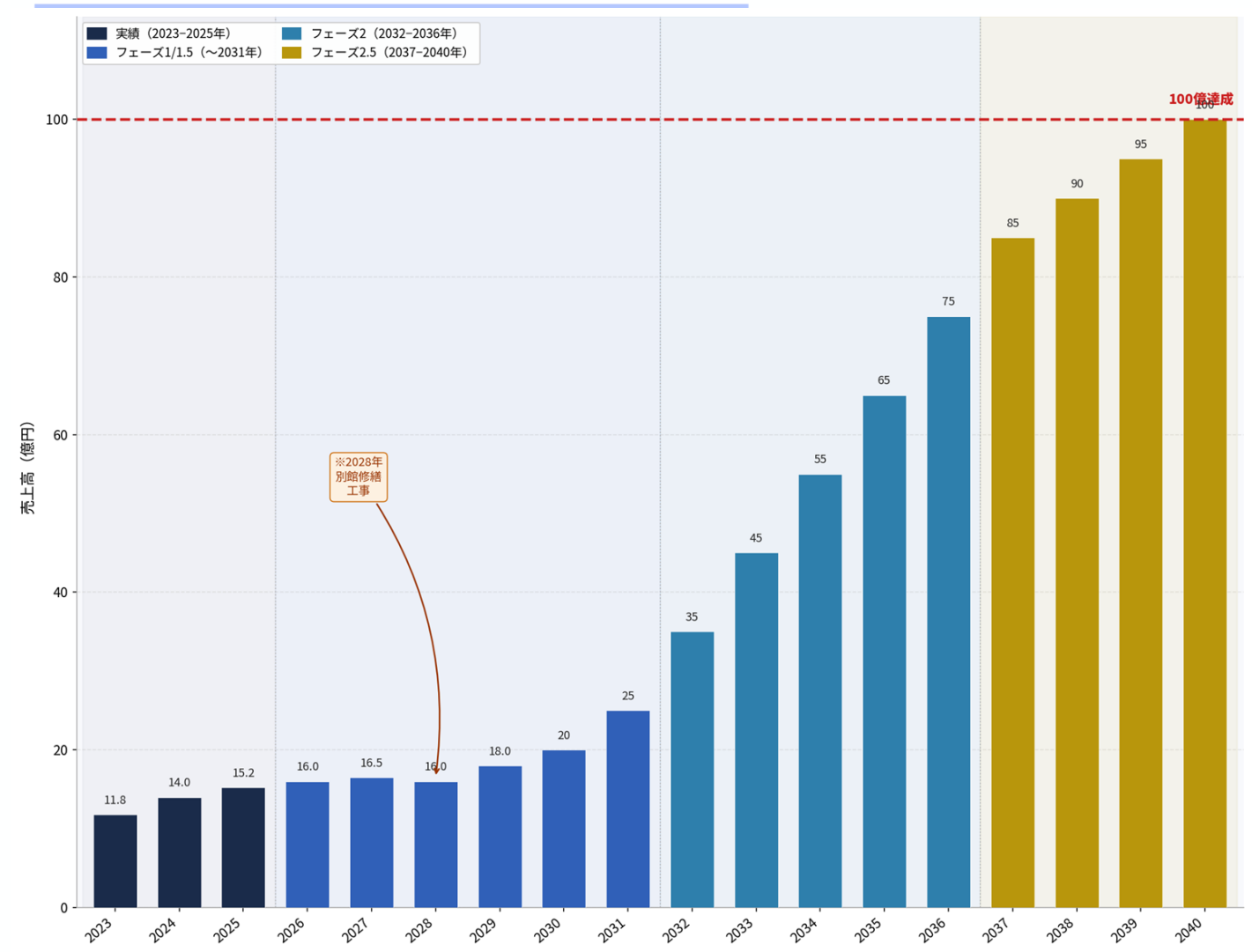
## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- 【フェーズ1（～2031年）】銀山温泉モデル確立  
社員寮建設・古勢起屋別館文化財化・CK拡張・清掃会社設立（投資総額約9.5億円）で収益基盤を整備。
- 【フェーズ1.5（2027～2031年）】他地域シナジー実証  
既存の旅行・食品製造・輸送機能を周辺地域へ提供。横展開モデルを実地検証。今次投資がこの段階に直結。
- 【フェーズ2（2032～2036年）】横展開加速  
年商10～20億円規模の観光地に1～3億円少額投資で参入、行政を「運営参加者」として巻き込む。
- 【フェーズ2.5（2037～2040年）】面的再生  
観光地単体から周辺農村・集落を含む広域の経済エコシステムへ拡張。「作って稼ぐ」だけでなく、地域と育てる。

### 実施体制

代表取締役社長・小関健太郎（2009年入社・16年の多業態経営実績）を中心に、旅行事業部・食品製造・セントラルキッチン・清掃部門の各責任者が推進チームを構成。外部支援機関と共同策定した中期経営計画の実績を基盤とし、フェーズ1.5の他地域協業に対応する専任コーディネーターを2027年までに育成・配置する。



### フェーズ1（～2031年）銀山温泉モデル確立

社員寮建設（最大2.5億円）・古勢起屋別館文化財化と修繕（最大5億円）・セントラルキッチン拡張（最大2億円）・清掃会社設立の4本柱（計9.5億円）で、銀山荘の収益基盤を盤石にする。今次補助金は社員寮・CK拡張・別館修繕への設備投資に充当し、稼働率90%超・RevPAR10万円・CK外販1億円の達成を通じて、銀山温泉モデルの原型を2031年までに完成させる。この基盤整備が全フェーズの礎となる。

### フェーズ1.5（2027～2031年）他地域シナジー実証

銀山荘が保有する旅行業・食品製造・輸送・宿泊ノウハウを周辺地域の温泉地・観光地へ提供し、銀山温泉モデルの横展開可能性を実地検証する。専任コーディネーターを2027年までに育成・配置し、旅行事業部・食品製造部門が地域協業の先遣隊として機能する体制を整える。今次投資によるCK拡張・社員寮整備が、この段階の他地域協業の物理的受け皿を形成する。

### フェーズ2（2032～2036年）横展開加速

銀山温泉モデルが確立した2032年以降、年商10～20億円規模の温泉地・観光地に1～3億円の少額投資で参入し、横展開を本格化させる。行政を「補助金の出し手」から「事業の運営参加者」へ転換する共創型地域経営体制を構築し、多業態ノウハウを持つ現地責任者を各拠点に配置・育成。複数拠点の自走化と収益安定化を促進しながら、銀山荘全体の売上を45～55億円規模へ拡大する。

### フェーズ2.5（2037～2040年）面的再生

温泉地・観光地から周辺の農村・漁村・集落へ展開範囲を拡大し、一次産業との連携で広域の経済循環エコシステムを創出する。各横展開拠点を20～30億円規模に育て、地域全体の経済的自立を促進。銀山荘本体の売上約20億円に横展開地域の合算約80億円を加えた総売上100億円を、2040年に達成する。

### 横展開構想

「銀山温泉モデル」の本質は、地域の不満・課題を事業化する仕組みの移植である。宿泊・飲食・農業体験・交通・旅行業の多業態複合型で地域全体の経済循環を創出し、行政・地元事業者・住民との共創アプローチで各地域の独自性を活かした差別化戦略を展開する。「作って稼ぐだけではなく、地域と育てる」という経営哲学のもと、日本各地の温泉地・観光地・農村・漁村の再生を支援し、地域に根ざした100億円企業として社会的インパクトを最大化する。

◎ 「作って稼ぐ」だけではなく、地域と育てる。それが銀山温泉モデルです。

○ 法人番号：9390001009200（株式会社銀山荘）